

こんな声がありました！

違う花が咲いた…。「つぎ木苗のお話」



co-op



前に植えたつぎ木の苗だけど、こんな花だったかしら？

植えたのと違う植物が育っているみたいだね。



苗が間違っていたのかな。

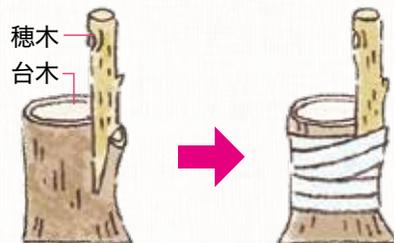
そうかもしれないね。



つぎ木苗の場合、台木から芽が出て生育することがあるのじゃ。

つぎ木とは、枝や芽を切りとって、2つ以上の植物を切断面で接着して1つの個体にして増やす方法です。つぎ木する際に、土台となる根のついている方を「台木(だいぎ)」、実や花がなる方を「穂木(ほぎ)」と呼びます。花木類、果樹類、野菜類など様々な植物でつぎ木がされています。

病気や害虫に弱い品種でも、耐性のある品種を台木にしてつぎ木をすることで、病害虫に強い苗を育てることができる利点があります。一方で出た芽が成長し、穂木に十分な栄養がいきわたらず、穂木が育たず台木が育ち違う花を咲かせてしまうこともあります。



POINT 台木から出た芽は取り除きましょう

台木から出た芽をそのままにしておくとどんどん育ってしまいます。そのため、台木から出る芽があればすぐに取り除き、穂木から出る芽をしっかり育てるようにしましょう。

豆知識

違う花が咲く他の原因として
～先祖返りについて～

つぎ木苗でない植物でも、異なる花や実がなることがあります。品種改良された植物は、まれに改良前の性質が現れてしまうことがあり、先祖返りと言われていきます(何代も前の性質が出ることもあります)。

生育途中のストレス(急激な温度変化や高温多湿、日照時間、水分量など様々な要因)が影響し、親の性質が出てくる場合がありますが、どのようにして先祖返りが起こるのか明確な原因がわかっていません。

例えば…

本来は八重咲の品種(写真左)ですが、先祖返りによって一重咲き(写真右)になっています。品種改良が繰り返されているため、過去の親の性質が出てきてしまったようです。

